

■（私書箱）証憑管理メニュー活用のおすすめ

私書箱の「証憑管理」は、電子帳簿保存法に対応し、電子取引データなどを保管・管理できるメニューとしてご利用企業が急増中です。活用のポイントや、活用事例などを改めてお伝えします。

●●● 活用のポイント

① お客様は、【書類リスト】から簡単アップロード

- ・ 会計事務所がお客様に合わせた【書類リスト】を作成しておくことで、お客様は迷わず簡単にデータをアップロードできるようになります
- ・ 書類の種類や保存方法など、お客様がデータを保存しやすいようにイメージしてリストを作成します。

◇種別設定（書類リスト）の設定例

書類種別	補助種別	電帳区分	既定取引先	説明	...
電子取引データ	クレジット明細	電子取引	J C B	HPからダウンロード	
	A m a z o n	電子取引	A m a z o n	メール添付のものを保存	

② 会計事務所は、【年間一覧表】で保管状況が一目でわかる

データの保管状況・進捗を月別、書類リスト別に一覧で確認することができます。完了チェックマークを付いたり、メモ書き機能など、資料回収をスムーズに進めるための機能も備えています。

●●● エヌエムシイ税理士法人の活用事例 ●●●

2024年1月より開始された電子取引データの保存義務化。エヌエムシイ税理士法人では、これを「原始資料回収の完全ペーパーレス化のスタート」と位置付けました。会報誌「NMC通信」最新号に、証憑管理の運用事例を掲載しています。



エヌエムシイ税理士法人の取り組み公開

原始資料は「紙で回収」から「データで共有」の時代へ

掲載内容：「証憑管理の活用方針」「提案するお客様の優先順位」「提案にあたり、担当者の負担を減らすための対策」「導入事例」など

NMC A0 Journal



みなさまの事務所の方針、顧問先の状況に合わせた活用方法をご案内します。
弊社営業担当までお気軽にお問い合わせください。